

ばんたね ニュース No.10



藤田保健衛生大学
坂文種報徳會病院

〒454-8509
名古屋市中川区尾頭橋3丁目6番10号
TEL 052-321-8171
FAX 052-322-4734
<http://www.fujita-hu.ac.jp/HOSPITAL/>
発行：医療連携強化委員会
広報誌委員会

結核はどんな病気？

現在でも、多数の方が命を落としている日本の重大な感染症です。



明治時代から昭和20年代までの永い間、「国民病」「亡国病」と恐れられた結核。50年前までは、年間死者数も10数万人に及び死亡原因の第1位でした。医療や生活水準の向上により、薬を飲めば完治できる時代になりましたが、過去の病気とっていたら大間違いです。今でも1日に68人の新しい患者が発生し、6人が命を落としている日本の重大な感染症です。

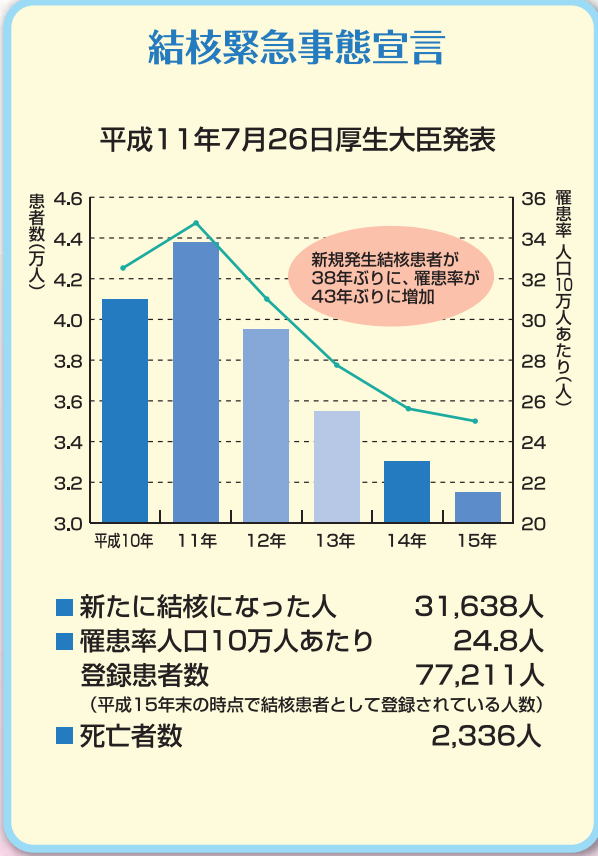
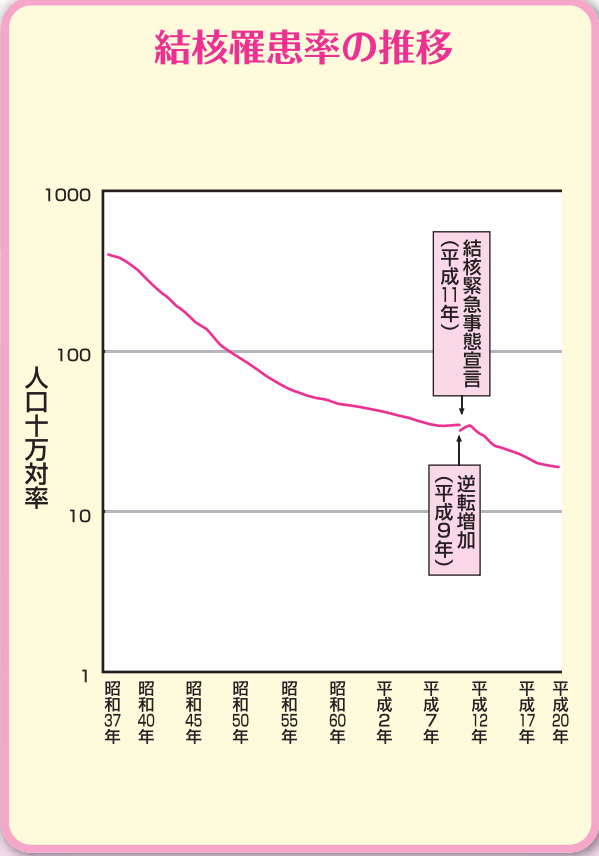
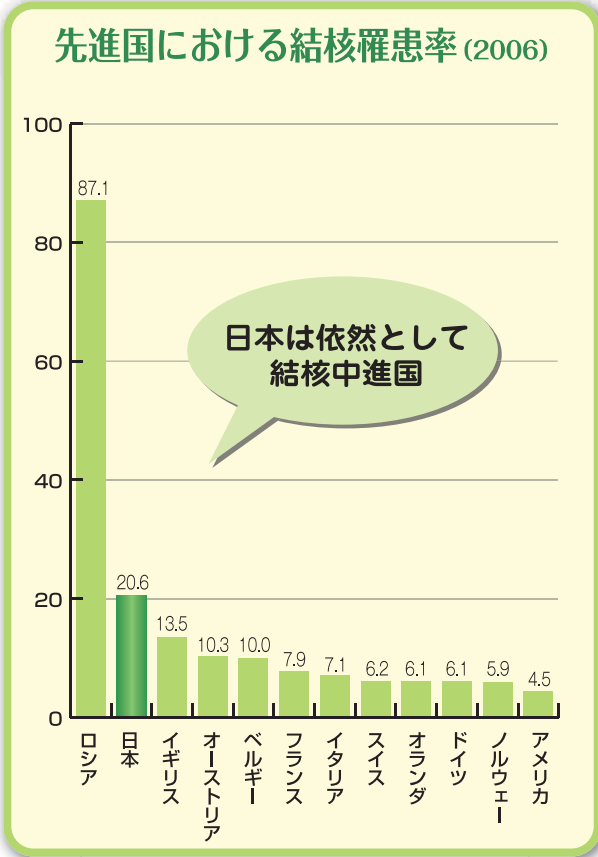
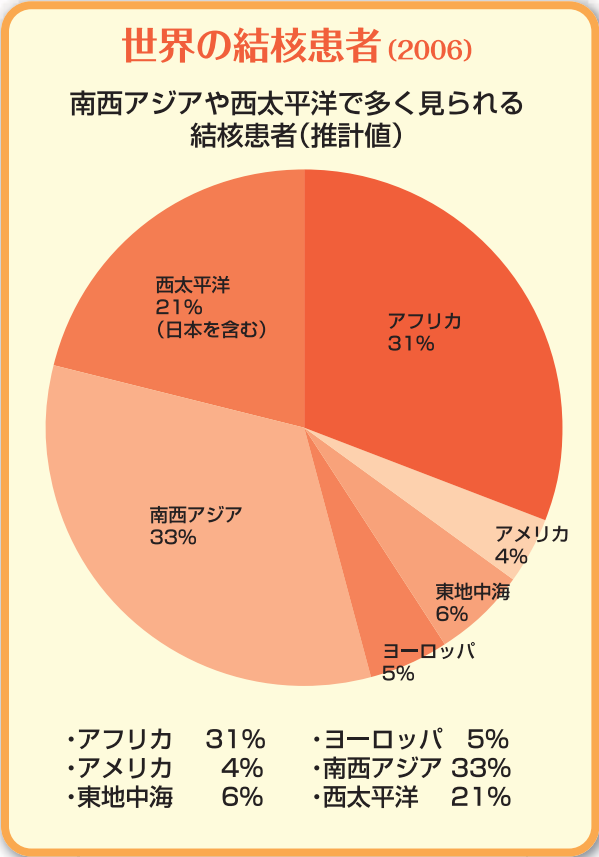
こんな時は病院へ

結核の初期症状は、風邪とよく似ています。せきやタンが2週間以上続いたら、結核を疑って早めに医療機関で受診してください。症状が1ヶ月以上続く人からは25人に1人の割合で結核患者がみつかっています。他に体がだるい、急に体重が減るなどの症状があります。



! 早めにマスクをして、医療機関で受診してください。

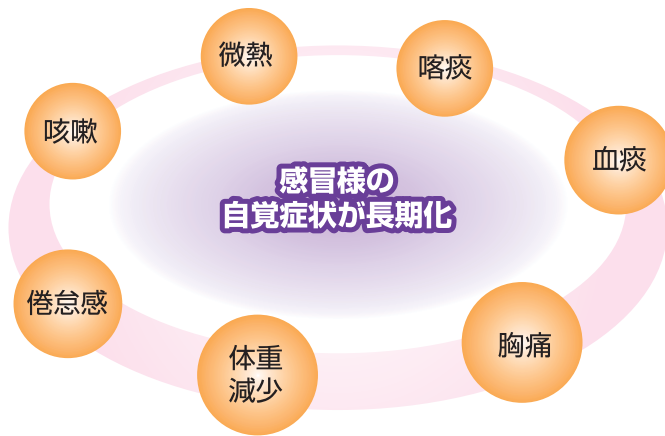
日本と世界の結核



結核はどうやってうつるの？

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。
 結核菌の混ざったタンがせきやくしゃみと一緒に空気中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことによってうつります。これを「空気感染」といいます。
 「結核かな？」と思ったら、医療機関を受診しましょう。また人にうつさない為に、せきが出る時はマスクをつけることをこころがけましょう。

〈結核の症状〉



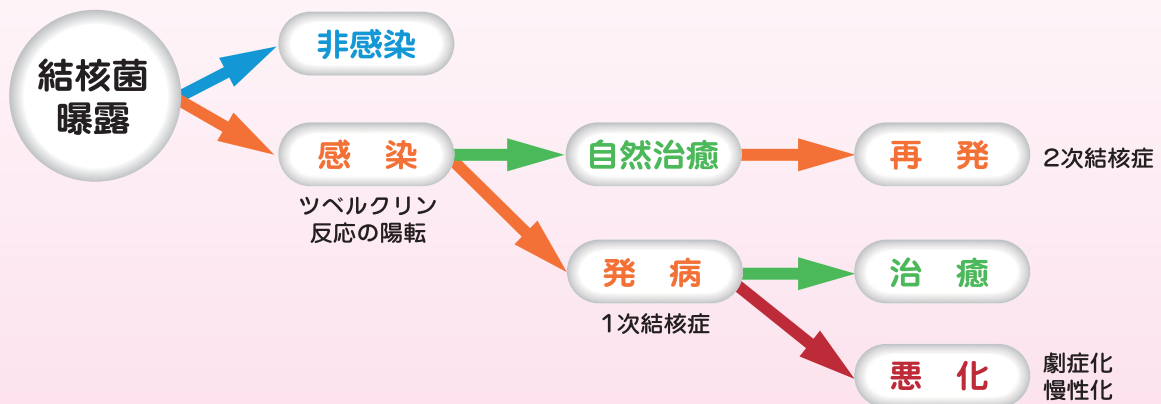
2週間以上せきが持続したら胸部単純レントゲン写真を撮影

無症候のことも少なくないので集団検診・定期的個人健診を受けましょう

感染したら必ず発病するの？

10人が結核に感染した場合、発病するのは1人～2人です。通常は免疫機能が働いて、結核菌の増殖を抑えます。ただ、免疫力だけでは結核菌を殺すことはできないので、免疫力が弱まると発病するケースが増えています。
 もしも、結核に感染し、発病したとしてもタンの中に結核菌を出していない軽症の場合は、他人にうつす恐れはありません。重症の結核でも薬を飲みはじめると、タンの中の菌は激減します。
 せきが止まれば周りの人に感染させる危険性は少ないので、心配する必要はありません。

〈結核感染と発病〉



結核の予防

結核は、注意をしていればそれほど怖がる必要はありません。2週間以上せきが続くようでしたら、医療機関で受診しましょう。早期発見は本人の重症化を防ぐためだけではなく、大切な家族や職場等への感染の拡大を防ぐためにも重要です。お互いに、「大丈夫？」と注意しあうことが、とても大切です。抵抗力の弱い赤ちゃんは、結核に感染すると重症になりやすく、生命を危うくすることすらあります。予防するためには、BCG接種が有効です。生後3～6ヶ月に接種しましょう。

〈自宅でできる予防〉



睡眠時間を十分にとる



適度な運動を行う

好き嫌いをせずに
バランスのとれた食事をする



結核の治療

DOTS(ドッツ)とは直接服薬確認療法のことです。つまり、医療従事者は患者さんに薬を処方するだけでなく、患者さんが服薬するところを目の前で確認し、支援する方式です。結核と診断されても、6ヶ月間毎日きちんと薬を服用すれば治ります。しかし、症状が消えたからといって、治療の途中で服薬を止めてしまえば治りません。それどころか、菌は抵抗力をつけ、薬が全く効かない多剤耐性菌になることもあります。日本では近年、結核研究所の調査によると入院患者さんの0.5%から「超多剤耐性結核菌」が検出されています。これは結核の治療に使われる主要な薬剤のうち、4種類以上の薬が効かず、東ヨーロッパやアジアを中心に広がりつつあり、WHO(世界保健機構)が警戒を呼びかけている新種の結核菌です。治療を確実にするために、服薬を支援するDOTSの推進が強化されています。



直接服薬確認療法

(文責:伴 直昭)